

光市医師会報

昭和54年7月発行

No. 83



近藤龍一先生

光市医師会

医師会月間行事

◎ 定例理事会

7月10日(火) 午後7・30

於医師会館

○報告連絡事項

(1) 1/4半期の予算執行状況について

(2) 救急医療、住民保健担当理事合同協議会について

(イ) 各医師会の状況

(ロ) 保健センターについて

(ハ) 二次病院の状況

(3) 麻薬担当理事協議会について

(イ) 保管・管理・帳簿・年報・カルテ処方について

(ロ) 医療麻薬関係の現状について

(ハ) 最近の薬物乱用問題について

(ニ) 保険研修会の費用負担について

(ホ) 学校保険理事会(光市)について

(4) 予防接種出務中の自動車損傷事故について

○協議事項

(1) 会員の講演謝礼について

スライド式等を含め10000円と決定

(2) 私用に医師会のコピー機械を使用した場合の費用徴集について

コピー用紙1枚の原価を基準にして決定し使用者より徴集する。

(3) 7月度例会と検討こん親会

◎ 例会並に検討会

7月24日(火) 午後7・00

於 島田市鳥源

○報告連絡事項

(1) 麻薬担当理事協議会について報告

(2) 税対策合同会議について報告

イ、中四国連絡協議会における丸茂発言と県医の見解について

ロ、税のアンケート調査の集計結果について

(3) 労務担当理事協議会について報告

(4) 予防接種出務中の自動車損傷事故について

○協議事項

(1) 日本医師連盟、県医師連盟寄付金について

日医連盟、A会員1人5,000円

B会員1人1,000円

県医連盟 1人1,000円

以上全員了解、予算より支出

(2) 私用に使用したりコピー代金の自己負担について、了解

(3) 老人検診、成人病健診の実施計画について



My Hobby

「芸術に誤解はつきものヨ」

近 藤 龍 一 (臥龍)

伊藤先生からお誘いを受けて、水墨画を習いはじめてから2年足らずになります。もともと才能のない上に全く努力をしないので、さっぱり上達せず、いつも先生からしかられてばかりいます。今回、出させて戴いた画は昨年防長水墨画壇展に出品した作品です。一応もっともらしくまとまっていますが、半分以上先生が直して下さいました。それでも、初めての作品ですので、うれしくて恥知らずにも待合室に掛けておられますと、色々の人が「先生は水墨をやられますか。」と驚きと猜疑と憐みの混った顔でニヤニヤします。それでも「ナニ、芸術に誤解はつきものヨ。」と自らを慰めつつ、これからも続けてゆきたいと思つています。

◆◆◆◆◆ 6 月 の 日 曜 日 ◆◆◆◆◆

丸 岩

午前5時起床

睡眠朦朧

釣友の鳴らす玄関のチャイムの音

朝霧を突いての出発

海は凧 空は曇

六時 室津港着

活気を孕んだ港の空気

磯の香に 船頭のはずんだ声

快調なエンジンの響と共にアドロ(漁場)へ

眼覚ましのウイスキーの味も格別

白浪を蹴って四十分

平郡島を東 八島を沖 祝島を西に

遠く四国 九州が霞む

釣糸を垂れての雑魚釣三昧

潮風に打たれての昼食も もどかし

戦果は可成

めいぼう(はげ) 赤青べら(ぎざみ) きす

ほご めばる あじ はぜ 小鯛等々

日頃運動不足の為 肩腰痛

空を仰いでのごろ寝

雲が走り日光が海に跳ねる

午後三時帰港

港宿でのコーヒーが疲れを溶かす

暑い日射を浴び車中、今日の自慢話がは

ずむ

帰光四時迄

家内の魚料理に舌鼓

晩酌の酔 船の快よい疲

明日よりの多忙煩雑な一週間を考へつつ

早寝

あとがき

医者は朝から晩まで、カルテに字を書きこんでいますが、人に読まれる記事を原稿用紙に書くことは、大多数の方々が嫌いで苦手なのではないかと思えます。(自分がそうだからと云って決めてはいけません)

その御迷惑が判っているのに、原稿や表紙の依頼に答えていただき、期日には毎月医師会報がこうして会員の記事で出せることを、本当に有難く編集子心から感謝しお礼申し上げます。

夏向きの爽かな詩、丸岩先生がこのような文を書かれるとは想像もしていなかったので爪を隠しているんだねとからかってしまいました。

水墨画の教室では、近藤先生は優等生で、職業を選ぶのを間違つたのじやないかと師匠が大きな期待をかけています。同人の高島先生は文人画風の瀟洒な筆致、吉田先生はマチスばりの大胆な描写。生徒一同秋に開かれる展覧会の作品づくりに取りかかっています。10月になりますと素晴らしい作品がお目につけられると思います。

伊 藤



発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社